NIE実践報告

1．タイトル：☆自己表現力を高める新聞作り

2．学校名

千葉県習志野市立秋津小学校

3．実践者名（代表者名）

山田芳実

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　31人

6．単元（本時の学習課題）名

「修学旅行新聞」を作ろう

7．目標(狙い)

相手意識や目的意識を持ち、見出しやレイアウトを工夫しながら、5年生に修学旅行の楽しさを伝える新聞を書く。

8．評価の視点

・見出しやレイアウトを工夫して、5年生が読みたくなるような新聞を書くことができたか。
・5年生向けの内容や表現方法で、修学旅行の楽しさを伝える文章を書くことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「楽しい修学旅行にしよう」［総合的な学習の時間：4時間］
「パンフレットを作ろう」（教科書教材：教育出版）の発展的学習［国語：4時間］　合計8時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①新聞の特徴や読者が読みたくなるような新聞の書き方を見つける。（修学旅行前・4時間）
・読者を引きつける書き方の工夫（見出し、写真、囲み記事）
・複数の新聞の記事の比較
・様々な表現方法の活用（写真、グラフ、イラスト、コラム、社説、俳句や川柳、4コマまんが）
・実際に手書きされた新聞でイメージをつかむ
②「修学旅行新聞」（A3判二つ折り両面書き＝A4判4頁分）を書く。（修学旅行後・4時間）
（留意点）
・書くことが苦手な子には、大きな文字を用いさせて負担を減らす。
・全体の構成、トップ記事、見出し等について、5年生に伝えたい事柄という視点で、十分に考えさせる。
・記事の内容に最適な写真はなかなか見つからないので、イラストを書かせる。
・修学旅行のしおり等、事前に学習したものを活用させる。
・紙面のデザインや割り付けは、既成の新聞にとらわれることのない自由なものを考えさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

文章に5年生に呼びかけるような表現がたくさん見られた。地図、グラフ、表、コラム、俳句、クイズ様々な方法を用い、思い思いのレイアウトで新聞を書くことができた。見出しを十分に練らせることで、焦点化された文章になった。5年生からは「読みやすい」「わかりやすい」「参考になった」等の感想が寄せられた。

12．成果と課題

読者を5年生に限定したことで、書く際の相手意識が育った。「紹介する」「伝える」という目的に沿った文章を書くことができた。目的的に情報収集し、自分の作品に活用する力が身に付いてきた。今後は、今年度の成果の上に立ち、実生活に活用できるような実践を追求していきたい。